

2013年度 第2回

日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会・議事録

日時:2013年 8月 29日木曜日 18:30-21:00

場所:日本社会事業大学文京校舎201教室

出席者 (敬称略)

大島 森田 福山 荒井 小野 黒岩 小林 芝田 原田 山田 李 渡邊 賛川

報告:

1. 各部会活動報告

- ・ホームページ ・ニューズレター ・「社会福祉学評論」編集委員会 ・その他
- 議題の中で報告していただいたため、議題部分参照。

議題:

1. 今年度の関東地域部会運営委員、監事、経理担当者、その他役割分担

1) 運営委員の役割分担について

- ・詳細は別紙役員一覧参照。(欠席者については暫定案)
- ・芝田氏:社会福祉学評論担当。政策系の査読をお願いする。
- ・宮島氏:広報を担当していただく
- ・斎藤氏:広報担当?(黒岩氏から確認)

2) 各部会の事業計画【広報】

- ・HP担当、NL担当を統合し、「広報委員会」を設置する。広報機能の強化を図る。
→戦略的に広く関東部会の広報をしていくために必要に応じて委員会を開催する
- ・内容について
どういった人がどういった情報を求めているのか。
若い人に対するメッセージ→社専協との協力体制。
求められている情報を知る→部会活動全体に対するアンケート(研究大会参加者にアンケートの実施、メールアンケートなど)
最近のアクセス:ユニークユーザー200人前後で安定している。

<ニューズレター(NL)>

- ・今年度は12月中に発行し、3月の大会の案内を掲載する
- ・研究大会以外のイベント(公開講座、最終講座、公開審査等)もあれば掲載したい
- ・NLの内容について
→他学会(地域福祉学会、社会福祉士会、関東社協など)の先生等から、関東部会への期待等について寄稿をいただく。

<ホームページ>

- ・休眠状態にあるコンテンツをどう活かしていくか。
→個々の会員からの情報収集が課題。投稿も待ちたい
- ・コンテンツの充実
→ネット上でのリレー形式で委員、他地域の部会の先生方に原稿を依頼する
- ・発信した情報へのリアクションへの対応
→件数が増えてきた時に検討を行う。業者への委託の検討も必要か。

2. 2013年度関東部会研究大会について

<日程> 日程によって開催地が変わってくる可能性がある

<開催地> 昭和女子大学にお願いできないか(3月1日、2日)。文京学院大学にも打診。

→日程の変更も検討しつつ、同時並行で日程と開催地を調整をしていく。

<実行委員長> 開催校の先生

<大会テーマ、記念講演、シンポジウムなど>

参加者が何を聞きたいかが重要

- ・福祉への関心が減ってきている中で、若手や実践家向けに発表の魅力を伝える。
- ・現場へのインパクトを与える内容として、現場の人にも会員になってもらう仕組みが必要。
- ・親学会はテーマが多すぎる。もっと実践で活かせることをテーマに。実践を研究に活かす。実践をしながら研究をしている人のロールモデルとして発表をしていただく。
- ・他の領域も良いが、この領域で実践と研究をしている人に話してもらう
- ・修士の学位を取得した人の行く末はどうなのか。出身領域に戻っていく人もいる。

検討会で話ができるようにたたき台を作成する：大島担当理事

- ・上記の検討に関するワーキンググループ（9/21-22、社会福祉学会大会中に開催）
- <研究大会・研究奨励賞について>
→若手を対象とする。若手の範囲をどこまでにするか。学振の基準を参考にする

3. 研究奨励賞について

- ・2の<研究大会・研究奨励賞について>参照

4. 社会福祉学評論の投稿状況、編集・査読体制について

<投稿論文の状況>

- ・投稿論文13-001① ソーシャルワーク研究における質的内容分析法の適用
査読者：志村健一氏（東洋大）、木村容子氏（日社大）
- ・投稿論文13-002①「困難性の高い」子育て課題を持つ母親の役割をめぐる保育士支援～Z保育所における保育士と母親へのインタビュー調査から～
査読者：

<査読者の決定手順について>

- ・以前、査読者は運営委員会開催前に編集委員が投稿論文に目を通しておいて、公募や推薦などで査読をお願いできる査読者を募っていた。運営委員会で決めて、最終的には理事から依頼をしていた。
- 早く処理をすることが必要。①受付後、編集委員にタイトルと抄録をメールする。
②編集委員の中で担当を決める。③編集委員をグループ分け(制度・政策、方法論など)をして、そのグループに受け付けた論文をそのグループの担当の先生で責任をもって査読を決めてもらう。④第3査読が必要な場合には担当編集委員が行う。④理事より査読者に査読依頼を行う。

*今回の投稿論文13-002①は小林氏に担当編集委員をお願いする。

<社会福祉学評論12号(2013)の発行>

- ・11-2-03決定、12-002掲載予定。この2本を入れて紙媒体でも作成。関東地域福祉系大学へ寄贈する

<投稿の呼び掛け>

- ・座長推薦論文は2人投稿予定。

<CiNiiへの掲載について>

- ・親学会で審議が止まっている

<紙媒体での出版>

- ・福祉系大学への寄贈

<編集委員会規程等の改正>

- ・別紙、規程等の改訂版参照 承認。

<編集・査読体制について>

- ・締切りの時期について。随時投稿可というのはメリハリがつかない。年に4回くらい締切りを設けた方が良いのではないか。

<編集規程>

- ・執筆要項6-(5)英文抄録は200words以内と訂正する。（現在200字以内となっている）

5. 広報関係の取り組みについて

<ニューズレター発行について>

- ・ 1の2) 各部会の事業計画参照
＜ホームページ広報との関係＞
- ・ 1の2) 各部会の事業計画参照

6. ホームページに関する課題

- ・ 運営業務委託について
→ 今後、ホームページの更新が頻回になってきたら検討する必要がある

7. 今年度の運営委員会日程について

- 11月20日(水)1830-、11月30日(土)1830-のいずれかで調整をする

8. その他

次回： 2013 年 11 月 20 日 or 30 日